

私は修学旅行で北海道と東京へ行きました。どちらも今回初めて訪れたので、知らなかったことばかりでとても勉強になりました。

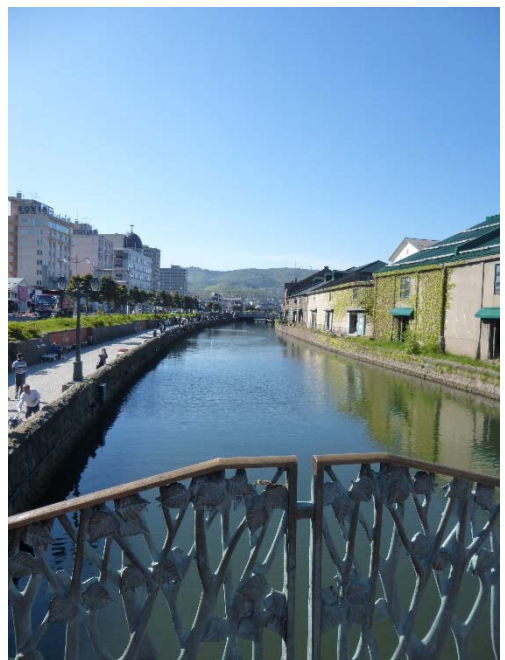
特に私は自然が大好きなので、東京よりも北海道の方が楽しめました。

北海道での出来事で1番印象に残っているのは、1日目に訪れた小樽市内の観光です。なぜなら、まだ1日目ということもあり、慣れない中で初めて訪れた町だったので、ひとつひとつのお店や周りの景色がよりきれいに感じられたからです。1番最初に入ったオルゴール堂には、きれいな音色にかわいいぬいぐるみのオルゴールや置物、飾りなどが沢山置かれてあり、あまりの綺麗さに感動し、長居をしてしまいました。今でもその時に流れていたメロディが頭に流れ、かわいいオルゴールの置物が思い浮かびます。また、ガラス工房が盛んということもあり、小樽市内を観光しているとあちらこちらにガラスの置物や風鈴などが飾られていました。きれいな物を売っているお店があまりにも多かったので、つい入ってしまい、買わないといけないお土産がなかなか買えませんでした。

東京での出来事で一番印象に残っているのは、1日目に行った東京ディズニーシーです。東京は北海道とは違って、すごく暑く、人も多かったので並んでいる時は正直苦痛でした。しかし、乗り物は面白く、乗り物へ乗るとすぐに苦痛が飛んでいきました。また、お土産売場に大好きなディズニーのグッズが沢山あったので、とても嬉しく思いました。さらに、チップとデールと一緒に写真を撮れたり、サインをもらうことができたので本当に楽しい1日でした。

私は今回、「北海道・東京」の修学旅行に参加し、沢山の事を学ぶことができました。近年テレビや新聞、学校の社会の授業で、グローバル化が進んできているということをよく耳にします。東京と北海道を訪れた時、どちらの地でも外国の方が驚くほどたくさんいらっしゃったので、私自身グローバル化を肌で感じることができました。また、同じくテレビや新聞、学校の社会の授業で地球温暖化という言葉をよく耳にします。普段大阪に住んでいるとあまり感じませんでした。しかし、北海道の自然を目の前にした時や、バスガイドさんのお話を聞いていると、地球温暖化が進んでいるという事実を知ることができました。さらに、班員で協力することの大切さも学ぶことができました。途中で班員メンバー同士上手いかないことも何度かあったけれど、その度に班員で話し合いをするなどして皆で解決しました。このことから、集団行動の大変さや、協力することの大切さを改めて学ぶことができました。

今回は6日間ぎっしりと予定が詰まっていて、集団行動の中で上手いかないこともあり、大変な部分もあったけれど、今までで1番楽しかった修学旅行になりました。最後の修学旅行で良い思い出を沢



山作ることができてよかったと思います。これからは、この修学旅行で学んだことを意識して、日々の学校生活を過ごしたいと思っています。

